

## 【小論文】

デジタルとAI革命が進行する今日の社会は、第4の産業革命といわれている。それに関する添付の論文を読んで、以下の設問に答えよ。

- 問1 (i)人間至上主義以前の時代に至上の存在とみなされたものは何か。  
(ii)人間至上主義は、それ以前の時代の価値観にどのような変更をもたらしたと筆者は主張しているのか。(20点)

### 【解答例】

- (i)神あるいは星などの自然現象  
(ii)「人間が神を考え出し、聖書を書き、多種多様に解釈した。だから人間自身があらゆる真実の源泉だ。聖書をインスピレーションを与える人間の創造物と呼んでも構わないが、本当はそんなことをする必要はない。もしジレンマに直面したら、ただ自分自身に耳を傾け、内なる声に従おう」

- 問2 データ至上主義は、それ以前の価値観にどのような変更をもたらしたと筆者は主張しているのか。(20点)

### 【解答例】

人間の経験をデータのパターンと同等に見ることにより、私たちの権威や意味の主要な源泉を切り崩した。  
神は人間の想像力の産物ですが、人間の想像力そのものは生化学的なアルゴリズムの産物に過ぎません

- 問3 データ至上主義が世界を征服することに成功すれば、人間はどのようなになると筆者は予測しているか。短期と長期に分けて述べよ。(20点)

### 【解答例】

短期的には、人間至上主義に基づく健康と幸福と力の追求を加速させる(人間至上主義の価値観の実現に寄与する)。

長期的には、人間至上主義のプロジェクトの意味を失わせる。「すべてのモノのインターネット」がうまく軌道に乗った暁には、人間は、その構築者からチップへ、さらにはデータへと落ちぶれ、ついにはデータに飲み込まれた土塊のようにデータの奔流に溶けて消えかねない。

問 4 筆者は、データ至上主義の革命をどのような革命と位置付けているか(20点)。

【解答例】

その革命が単に産業の革命・政治体制の革命にとどまらず、世界あるいは宇宙における人間存在の意義に関する革命であると位置づけている。

問 5 データ至上主義によって生じる社会・価値観・哲学の変更に關する筆者の考え方に対するあなたの意見を述べなさい(20点)。

【解答例】

データ至上主義という用語は別として、データの重要性が増し、そのデータ(情報)が人間の行動の規律に大きな変更を与えてきたことは間違いない。

しかし、さらにデータが自律化したことで人間が絶滅した動物の道を歩むとするのは、論理の飛躍がある。そのようにロボットやAIが人間を支配する時代が来るという映画もあるのでそれに汚染された結果、そのように考える人が一定程度いるかもしれないが、その点については、いまだ扇動の域を出ないのではないか。

むしろ、今問題になっているのは、そのようなアルゴリズムを支配し、操作する者が扇動して、世界を制覇したり、あるいは扇動によって世界が消滅する(格が使用されたりする)ことではないか、アルゴリズム自体が人間を支配する社会の可能性よりもアルゴリズム・データを支配する者が支配し、あるいはその扇動によって、社会に危機がもたらされる可能性の方が高いのではないか。データ至上主義は、データ自身が人間存在を凌駕する可能性を危惧するよりも、データを支配する人間による支配が危惧されるべきではないか、がデータ時代の社会・価値観・哲学の変更という問題の核心ではないか。

以上